



①(必)  
国民の義務  
・教育  
・働く  
・税金を納める  
↓  
国民の生活のために使われる。  
・学校  
・教科書  
・公園  
・市立とかの病院  
・道路  
・信号機  
・先生のさきょう  
・理科の  
・白バイとか

活動の中で子供たちは、様々な種類の税があることや、珍しい税もあることを知り興味関心を高めていった。そして、税金が自分たちの生活に大きく関わっていることを知り、その大切さに気づき始めていった。

税金の種類  
・消費税  
・酒税  
・国税  
・たばこ税  
・所得税  
・自動車重量税  
・法人税  
・住民税  
・市町村に納める  
・相続税  
・入湯税  
・贈与税  
・固定資産税  
・事業税  
・とん税  
・国民健康税  
・ガソリン税  
世界  
ヨーロッパ  
チップ(健康増進税)  
イギリス  
渡帯税

## ②「もし税金がなかったら」というシミュレーションを取り入れる

次に、税金がなかったら世の中がどうなってしまうのかを考える活動を行った。これによって税金の大切さがよりクローズアップされ、その役割が分かりやすくなると考えたからである。

もし、税金がなくなったら、どうなるだろう？  
・学習能力に差が出る  
・授業料がかかると  
・災害の後が放置される  
・戦争などの理由で貧しい国を助けられない。  
・公園などの公共の場がなくなる  
・タブレット、教科書有料  
・信号機ない…事故増  
・いろいろに差が出る。

もし、税金がなくなったら、どうなるの？  
・災害が起きたときに家とかはもちろそのところもこわれたまま  
・道路がこわれたらなおすのお金おそくなる。  
・信号機がつけられなくなるからここが多くなる。  
・お金もちが有利になる。  
→病院、学校など  
税金がないと生活がきつくなる。

もし税金がなくなったらどうなるだろう？  
・お金がある人しか、病院に行ったり、勉強ができなくなる。  
・火事などがおきても、お金がある人しか、消防を呼ばない。  
・道路の整備ができない。  
・お金がある人が快適な暮らしができる。  
・物が税金の分安くなるが、不便になる。

「お金のある人しか勉強できなくなる。」「災害が起きても(直せず)に壊れたままになってしまう人もいる。」「火事が起きても消防車を呼ぶのにお金がかかる。」といった意見が出された。

子供たちはいわゆる公共サービスに着目し、貧富の差によって生活水準が大きく変わることについて、「税金がないと生活がきつくなる。」という言葉が印象的であった。

## ※ 法人会の皆さんによる租税教室の実施

6月3日に法人会の方がいらっしゃって、租税教室を行っていただいた。分かりやすいお話やスライド、動画で、子供たちの興味関心も高まり、税に関する理解も深まっていった。(内容は児童のノートを参照してください。)1億円のレプリカを持って興奮する子供も見られた。



税金はみんなが納めている。  
 税金は50種類もある  
 公立のものばほとんど税金で  
 海外の人を助けるために税金をつか  
 たりしている。  
 ・公園や信号も税金がなくなると  
 管理できなくなりなくなる。たりする。  
 ・火事の火を消すだけでお金か  
 かる。  
 ・災害の復旧や復興に税金がつか  
 われる。  
 税金はみんなが出し合う社会の  
 会費  
 ・コロナウイルスの対策には税金  
 はつかゆれてない  
 集ま。ている税金はつかいみんが  
 きま。てる。  
 ・税金はないとだめ。  
 1. 税金は身近でつかわれている。  
 2. 税金は安心してくらすための社会の  
 会費  
 3.

・オリンピックの報しう金には  
 税金がかからない。(昔はかかっていた) 1992年に  
 なくした。  
 ・税金はみんな納めている。  
 ・公立は税金で建てられたもの。  
 ・税金は守金  
 快適 } このよな生活が  
 健康 } できるように。  
 平等な教育  
 他の国を助ける  
 税金がなくなると  
 道路がこわれてもおさげない。  
 信号がつかないから事故が多くな  
 る。火事などの時お金がたくさんかかる。  
 選挙で選ばれた人が話し合。て決  
 める。  
 災害がおきた時も使われる。  
 令和2年には690億使われた。  
 税金はみんなが出し合う社会の会  
 費  
 願い→案を出す→議会で議決  
 選ばれた人

まとめ  
 1. 税金は身近で使われている。  
 2. 税金は安心してくらすため。  
 3. 税金は選挙で選ばれた人が、使  
 い方を決めてる。  
 1億円は10kg  
 1億円でボールが作れる。  
 15億円で学校が作れる。  
 税金がなかった時代はどのよう  
 な生活だったのか。なるほど。

子供たちは租税教室の感想を次のように書いている。

税金の学習をした感想を書こう  
 ・税金は50種類もありかかるとお金の多いけど、その分教育や道路の整備がされているから日本に税金があつて良かったと思つた。  
 ・税金があるおかげで、快適な生活ができてると思つた。

税金の学習をした感想を書く  
 税金によって私達の生活が成り立っていることが分かった。税金を納めなくなつてしまつたら、ごみの処理や、学費に使われている税金がなくなつてしまうのは怖いと思いました。

税金の学習をした感想を書きましょう。  
 最初は税金を何かはらふこととするの、意味をいまいち分かっていないと思つていましたが、しつかりとやらう意味があることが分かりました。税金はせつたい必要だと思つた。

ここまでの学習を踏まえて、税金の大切さやなくなつてしまうと生活が逆に大変になってしまうことにつれた子供が多く見られたことから、学習内容が効果的であつたことがうかがえた。



税金に関する学習で、調べる活動を行ったときには、国税庁の「税の学習コーナー」のサイトを活用した。小学生にも分かりやすい内容で、理解を深めるのに有効であつた。

法人会の皆さんの授業でも動画を見せていただいたが、このサイトにもいくつか動画が紹介されている。ここにある「ご案内します、アナザーワールドへ」というタイトルの動画は以前から活用している。中学生向けとなっているが、6年生にも十分理解できる内容である。

ご案内します アナザーワールドへ (中学生向け)	
配信月	平成19年3月
再生時間	15分57秒
Windows Media Player	高画質 <span style="margin-left: 100px;">低画質</span>
内容	このビデオは、みなさんがこれからどういう社会に暮らしたいかなどを考えるきっかけにもらえるよう、日本の財政や税のしくみを学習できる内容となっています。(16分) (あらすじ) 若いのに愚痴っぽい会社員とソフトな物腰の影に悪魔のような冷たさを漂わせる謎の紳士。 謎の紳士が会社員を導いた世界とは一体・・・。

▶ CD・DVD等での貸出しを希望される方はビデオ一覧をご覧ください。

③ 今後どのようなところに使ってほしいか考える

震災後、石巻の復興のために多くの税金が使われてきた。それを振り返るとともに、これからどのようなところに税金を使ってほしいか、子供なりに考えてみた。

震災復興の願いを実現する政治  
2011.3.11 → 2021.6  
震災から今までに  
どんな変化があつたか？

- 復興記念公園ができた。
- 防災センターができた。
- 復興住宅ができた。
- 堤防
- 橋
- 遼東方の道路

↓

誰がどうや、をつくっているのか？

内閣、復興庁…国  
復興庁  
震災からの復興も  
目的として、自衛隊  
つくる

の県  
市  
などが、  
税金を使ったり法律を決めたりして  
つくる。

市議会ではどんなことをして  
いるのだろう。  
予算を決める。  
条例をつくる。

震災から復興するために税金を  
使、てどんなことをしてほしいか  
(自分の考え)

- 避難場所  
(たくさんのひがいがほしい)
- 海水浴場  
(震災でなくなつた場所もあるから)
- 震災について教える所  
(災害の怖さを知、てもらうため)
- 家をなくした人への寄付  
(元の生活ができるように)

④ 堤防 強い建つて物・建て物施設  
・楽しめる場所

震災から復興するために税金を  
使、てどんなことをしてほしいか  
ですか？

(自分の考え)

外国人の  
日本人だけでなく、観光客の人でも  
震災の時や後のことを分かりや  
すく知れる場所をつく、てほしい。

理由

外国人の人に震災のことが分  
れたら外国で大きな災害があつた  
時、「がんばらな、をにつれ、は、と思、てさ、

⑤ 個人への支援

- 建物、道路、施設をつくる。
- 楽しめる施設をつくる。公園

も、楽しめるところをつくる。

震災から復興するために、税金を  
使、て、どんなことをしてほしい  
ですか？

(自分の考え)

- 復興住宅を新しく

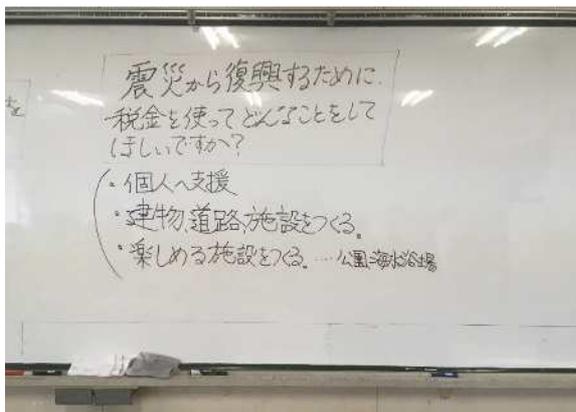
理由

震災から10年がたつので、10年  
前には、つくれなかつた場所(街に  
近い)に快適な家をつく、て、住  
んでもらうことで、少しでも生活  
が楽にな、てほしい。

- 公園、ひたん所

理由

公園として、気軽に足を運べる  
老人から子どもまでが天気のいい  
日にふれあえる。コンビニを備え  
た高く、丈夫な施設。



「避難場所を増やす」「復興住宅を新しく」「家をなくした人への寄付」「海水浴場を元どおりに」「外国人にも震災のことが分かるような施設を」といったものが挙げられた。

荒唐無稽なアイデアではなく、現実をよく見つめており、子供たちも復興のことを真剣に考えていることがよく分かった。

#### 4 おわりに

税の学習は、指導要領にも載っているものの教科書での扱いは小さく、時数も多く割り当てられていない。しかし、政治に関心をもつような大人を育てるためにも、子供のときから税金が何に使われるのかについて学び、興味関心をもち、社会は自分たちの手でつくるのだという自覚をもった市民になれるように学習を仕組んでいきたい。

今回の実践を通じて、社会科の学習ではシチズンシップを育てていくことが重要であることを再認識した。